

自動車・同付属品製造業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	7~8	第一工場、灯油タンク場所事務棟南側にある灯油タンクに灯油を汲みに行き戻る時に、地面が凍結している所で滑って転んでしまい左肩を強打した。	49	50~99
1	1~2	工場内の作業場において、5台の成型機管理と製品管理を行っている作業中他の機械に移動する時に床の段差に左足を引っかけてつまずき、転倒しないよう右側にあった作業台に手をついたが、滑りよろけて左側の機械の突起部分に左脇腹が当たり、後ろ向きに腰部から転倒し負傷した。	49	50~99
1	9~10	刃物交換を行おうと刃物交換用ブースに進入しようとした際、他の作業者が作業していた為、避けて取ろうとしたところ、壁に立てかけてあったアクリル板につまずき転倒した。転倒する際に左手で持っていた刃物をかばう格好で転倒し、受身がとれず側頭部を床に強打した。	31	100~299
1	22~23	休憩中、外の喫煙室から食事を取るために食堂へ移動していた際に、通路に置いてあった箱に気付かず躓き、四つんばいになるように前のめりに倒れ、その際に右手中指を床にぶつけた。	40	50~99
1	3~4	就労中、休憩時間となり、工場敷地内の薄暗い通路を歩行していたところ、通路横に置いてあった台車（長さ約3m）に誤って足を引っ掛けてしまい前方に転倒し、右頭部・右頬・右膝・左太もも・脛を受傷した。	34	100~299
2	10~11	工場内のL字形通路を真っ直ぐ小走りに進み、結束用のPPバンドを取りに行こうと右に曲がりかけた時、足を滑らせ転倒し、正面のトイレの壁に、勢いよく左の肩から激突してしまった。	57	30~49
3	13~14	管理コーナーに戻る時、工場内通路歩行帯を歩行中、右足を捻った。その際に右足に体重が乗り、右足小指へ負担がかかり、右足第5中骨基部骨折となった。	48	1000~

				9999
3	8~9	派遣先に出社後、朝のラジオ体操に参加しようとして場所を移動していたところ、通り道であるフォークリフト置き場（コンクリート）の穴に気がつかず、左足が穴にはまってしまい、左足のくるぶしを負傷した。	53	100~ 299
4	6~7	金型保金整備で突発磨き部位のPC入力を実施しようとしたが、型修理箇所を確認する為、PC横にあるワーク保管棚より落下防止バンドを外しワークを確認できたためPCへ入力後、素手のままワークを持ち、保管棚へ戻そうとした時、床に垂れている落下防止バンドで滑り転倒し、落下したワークの上に左手をついて受傷した。	37	10000 ~
4	7~8	徒歩で工場敷地内の横断歩道を走って渡った後に、通常歩行したら躓いて右ひざを地面にぶつけ負傷した。	22	100~ 299
4	8~9	部品を取りに行く際に、通路の横の容器に足を引っ掛け転倒時に手をつき両手を（左手骨折右手をヒビ）を負傷した。	54	30~ 49
5	10~ 11	昼食を食べに外通路移動の際、雨で路面が濡れていたため、走っていて右膝を捻った。（何も無い平坦な通路）	46	100~ 299
5	1~2	夜勤時、ロッカーに向かう際、休憩所横でリサイクル用の軍手が入ったビニール袋を踏んでしまい、前方へ転倒した時に腰を痛めた。	25	1000 ~ 9999
5	9~ 10	出荷場にて、ポリ容器置きパレットと、フォークリフトの間に立てかけていた空のパレットをフォークリフト後方へ移動中、フォークリフト後部を避けようとしてバランスを崩し、うつ伏せに転倒した。	61	100~ 299
6	16~ 17	地区外梱作業を本工場に移設する為、旧Fラインエリアを解体しており、それに伴って消火器が置いてある場所の「責任者表示」を剥がす作業をしていた。1ヶ所を剥がし終わったので、次の表示を剥がす剥がすため歩いて移動していた時、床面の段差に気付かず、左足つま先が段差に引っ掛かり、左ひざを床についた時に受傷した。	57	1000 ~ 9999
7	9~10	厨房室にて朝食の準備中に、小走りで作業をしており厨房室内の溝のふたに足	56	50~

		を引っ掛けて転倒、左足を骨折。		99
7	8~9	工場の構内を通勤のため歩道を歩いていた。職場に向かうため右に曲がろうと歩道の傾斜部分（コンクリート部）に左足が着地した際、左足を捻り骨折した。	49	1000 ~ 9999
7	15~16	トイレのドアを内側へ半分程度開けて外へすり抜けるようにしようとした時、右ヒザが扉に引っ掛かってバランスを崩し転倒した。その際左手を勢いよく床につき手首を骨折した。	44	100~ 299
7	14~15	被災者は塗装加工区出入口屋根裏にできた蜂の巣を取り除くため、2人で棒を使い除去を行っていた。蜂の巣が地面に落ちた際、蜂が被災者に急に襲ってきたため、とっさに横向きに逃げたが足が絡まり床面に転倒した。（蜂は巣から出てきたか、周辺から寄って来たかは不明）	53	1000 ~ 9999
9	17~ 18	技研作業所内に於いて、現品束のフォークリフトのリーダーに渡そうと向かっている際に、誤ってパーテーションの足に右足を引っかけてしまい転倒、右膝を強打し負傷した。	53	10~ 29
9	8~9	ライン脇で作業用台車の往来を避け位置を変えながら作業見学を行っていた。作業用台車が近づいて来た為、パイプ組棚②を回って元の位置へ戻ろうと移動した際に、最下部に置いてある金属パイプ先端が右足作業ズボンに引っ掛かりバランスを崩し左前方へ転倒した。左側にあった部品組棚③の支柱（上から3本目の横支柱長さ約1.5m、高さ約1m）に、ヘルメットの左側頭部と眼鏡が衝突した。	40	1000 ~ 9999
10	18~ 19	工場において、業務終了前に敷地内のゴミ置き場へビニールゴミを置きに行った際、大雨が降っていて足元を滑らせてしまった。この時、ゴミ置き場のフェンスに胸を強くぶつけて打った。土曜日の夕方の出来事で病院へ行けず、また、痛みはあったがただの打ち身だと思い我慢していた。翌々日の朝も我慢して出勤したが、業務に支障をきたす痛さだった。	43	100~ 299
10	9~	作業現場の通路で倒れているのを発見した。（頭部に強打した跡があったと証言有り）倒れた原因として足を滑らせる等の転倒か意識障害等が起因して転倒したかは不明である。但し足を滑らせたり等の痕跡がなかったと発見者証言有	67	10~

	10	り。又、有害な状態での転倒と仮定した際には違和感があると発見者証言有り。		29
11	11~ 12	事業所内の検査台にて作業中、2階のトイレに行こうと移動した際、別の検査台前を通ったところ、検査台前の床に敷いてあった検査員専用のマットに足をとられ、滑って転倒した。倒れた際に左手首をつき骨折してしまった。	59	1~9
12	18~19	業務が終了し駐車場に向かう途中で、会社敷地内の花壇のブロックがあることに気付かず、ブロックにつまずき転倒し、負傷した。	42	50~ 99
12	17~18	終業後、着替えを済ませ帰宅する際、事務所床面の配線カバーに躓いて、バランスを崩し転倒した。	54	1000 ~ 9999

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html